

# ひなたぼっこ通信

2018年  
6月号

## グループホームから

「約一カ月がたちました」1階

看護師より・グループホームの看護師として働き始め、約一カ月がたちました。職員の皆様や、入居者様に助けられながら楽しく過ごさせて頂いております。朝の挨拶の時に、「今日もよろしくね」と、あたたかい言葉を掛けて頂くと、私の中で、「今日も一日がんばろう」と、力が湧いてきます。帰る時には、「明日も待っているよ」と、笑顔を見せて頂くと、一日の疲れも、ふきとんでいきます。

まだまだ不慣れではありますが、早くこの職場に慣れ、皆さまのお手伝い出来る様に、がんばっていきたいと思っています。どうぞ宜しくお願いします。

介護スタッフより・利用者の方からも、新しい看護師さんの評判は上々です。「1日に何度か調子を聞きに来てくれて、感じのいい看護師さんね。」とおっしゃる方もおいででした。また、痛い、調子が悪い、などと自分から訴える事の出来ない方もいらっしやいます。そんな方々の変化に気づくためには、利用者の皆さんの日常を知ることが大事だと思います。これから介護スタッフからお願いすることも増えていくと思います。利用者の皆さんの快適な生活を作るために、健康管理なども一

緒に力を合わせていきたいと思っています。

お加減はどうですか？



## 「大正琴」2階

4月27日、グループホーム2階を会場に、大正琴のボランティアの方々の演奏会が行われました。重低音を響かせる、ベースの大正琴があり、本格的な大正琴のバンド・・・というくらいのアンサンブルに、利用者の皆さん、ぐっと、ひきこまれるように聴きいられておりました。

昔から慣れ親しんできた、おなじみの曲では、ごいっしょに合唱も・・・。今年は、演奏の後、「3時のお茶」を、一緒にしていただきました。

実際に、大正琴に触れさせていただいたり、間近に見せていただいて、その魅力など、お話ししていただきました。音色の感動だけでなく「気持ち」の交流もさせていただきました。ほんとうにありがとうございました。

## 宅幼老所から

「苗植えをしました！」

新緑の綺麗な季節となりました。

先日、宅幼老所では利用者様と一緒に畑に野菜の苗を植えました。じゃがいも・きゅうり・ミニトマトなど、どなたも慣れた手つきで穴を掘って植えられるようになりました。



畑仕事が大好きな大ベテランの皆さんに手伝っていただきました。さすがに名人ぞろい、あっという間に作業は終わりました。暑い中手伝って下さった皆さん、ありがとうございました。今から収穫が楽しみです！

## ケアハウスから

「ハケ岳尺八クラブの演奏会」1階

5月10日(木)の午後2時から、ハケ岳尺八クラブの皆さんによる尺八の演奏会がケアハウス1階のフロアで行われました。一曲目は「ふるさと」、二曲目は「もみじ」の演奏でした。この曲の演奏は二部合奏で、尺八の音色がフロア中に見事に響きわたり、演奏が終わると利用者の皆さんや職員から盛大な拍手が送られました。その後尺八クラブのみなさんが一人一人自己紹介をし

てください、メンバーの一人が「一人で尺八の練習をしてもつまらないけれど、大勢で練習をしている時はとても楽しいです」

とおっしゃっていました。また「尺八を吹くと肺が強くなり健康でいられます」とも教えて下さいました。

演奏して下さった一曲一曲が利用者の皆さんがよく知っている曲で皆さんは演奏と共に口ずさんでおいででした。全部で19曲の演奏が終わり、大きな拍手とアンコールの大声援で、「北国の春」をみんなで大合唱しました。普段尺八の音色は聞くことがあまりないのもあり、みなさん、とても感動した演奏会となりました。(ひ)



「美しい音色を！」

5月10日に尺八演奏会がありました。尺八という楽器は、音を出すのが大変難しく、練習を続けないと良い音は出せないとのこと。

さて、その練習場は奥様が外出された御自宅だそうです。5人の演奏者の中には、つい最近まで

毎年冬に、原村文化園で演奏を主催されておられた方もいらっしやいました。ご高齢ではありますが現役農業者でおいでです。農閑期に花のハウスで練習されているとお聞きしています。会場をペーションションにしてなどの小規模の演奏会から数える、ゆづに20年を超える演奏歴です。とても素晴らしい生き方をされているなあと感じます。シルバー世代の方々が皆、優雅に首を振って美しい音色を奏でていらっしやいました。

音と言えば、外では代掻きされた水田から、蛙の鳴き声。その月写る水面が週末毎に緑へと変わる季節です。昔は一家総出で小さな子供も、それなりに一人前に近い働きで田植えをしたものですが、今や田植え機に乗るじいちゃん一人頑張りが、子供達は小風(おやつ)の応援隊。でも家族の団結が見られるいい機会です。

当施設でも、土日にはご家族の方、お孫さんが面会に來られ、待ち受けた皆様はパツと笑顔になられ、目が輝やいておいでです。家族とはいいいいものです。

### 放課後等デイから

「トーマスはやっぱり人気者！」

ひなたぼっここの理事の一人から、きかんしゃトーマスのプラレールをご寄付していただきました。その日から早速トーマスは子ども達に大人気です。競争するようにまわりに集まっては一緒にレールを組み立てます。

中でも、やはり男子のグループですね。男の子たちは、まるでDNAに「乗り物好き！」と書き込まれているようです。学年を問わずに、無心にレールを組み立てていきます。

いただいた機関車は「ゴードン」と「ジエームス」なのだそう。2台の機関車が組みあがったレールを走るさまを、どの子どもも一様に視線を下げて、床に頭を並行にして眺めるのでした。

時には2人の「遊びたい気持ち」が「ぶつかって」しまうこともあります。でも、それも友達を意識するという点で大事なことです。私たちは、それらも含めて、温かく見ていきたいと思っています。



理事長 森 正明

〒399-0211

富土見町富土見11650-1

TEL 0266-61-2335

FAX 0266-61-2336